

第108回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第 1 1 日目 7 月 27 日 (月)

準決勝 楽天モバイル最強パーク宮城 1 時間 51 分										打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
東北学院榴ケ岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	3	0	0	0	3	5	5	0	0
仙台育英	0	3	2	0	2	0	X			【東】	26	10	7	2	1	5	5	7	0
(球) 佐藤 圭 (一) 西山 充 (二) 新野 祥平 (三) 毛利 晃										▽本塁打 なし									
【東】 伊藤泰, 竹内, 岩淵										▽三塁打 今野, 田山 (仙)									
【仙】 竹内, 加藤										▽二塁打 なし (東) 丹羽 (仙)									
▽暴投 なし										▽捕逸 なし									

【 仙 台 育 英 】		打数	安打	打点
(指)	小久保 颯	3	0	0
(一)	齋藤 駿多	4	0	0
(二)	丹羽 裕聖	4	3	0
(右)	田 山 纒	1	1	1
(左)	高岡 龍一	3	1	1
(二)	有本 豪琉	3	3	2
(捕)	今野 琉成	3	1	1
捕	柴田 優星	0	0	0
(中)	倉田 葵生	2	1	1
打中	松本 悠嗣	0	0	1
中	菊 池 蓮	0	0	0
(遊)	砂 涼 人	3	0	0
(投)	竹 内 颯	0	0	0
投	加藤 稜翔	0	0	0

投手名	打数	投球数	投球回	投球回	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
竹内 颯	14	54	4	0	2	0	0	0	2	4	1	2	0	0	0
加藤 稜翔	9	39	3	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0

【 東 北 学 院 榴 ケ 岡 】		打数	安打	打点
(左)	佐々木 士	3	3	0
(中)	八乙女 蒼	3	0	0
(一)	七 森 飛	2	0	0
(捕)	遠藤 滉介	1	0	0
(二)	時田 将吾	3	0	0
(指)	大 西 蓮	3	0	0
(右)	柳生 昉之	2	0	0
打	佐 藤 遙	1	0	0
(二)	遊佐 友哉	3	0	0
(遊)	今野 太賀	2	0	0
(投)	伊藤 泰雅	0	0	0
投	竹内 海翔	0	0	0
投	岩淵 寛大	0	0	0

投手名	打数	投球数	投球回	投球回	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
伊藤 泰雅	18	68	4	0	7	0	0	0	4	2	0	0	0	5	5
竹内 海翔	2	17	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2
岩淵 寛大	6	29	2	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0

【評】
仙台育英が集中打で効果的に得点を重ね、7回コールドで決勝進出を決めた。試合が動いたのは2回裏、6番有本、7番今野、8番倉田の三連続適時打で3点を先制すると、3回には4番田山の適時三塁打などで2点を追加し、主導権を握った。5回にも交代した相手投手の立ち上がりを攻めて追加点を加え、着実にリードを広げた。打線は10安打7打点と繋がりを見せ、投げては先発竹内がピンチを招きながらも粘り強く投げぬいて4回無失点と試合を作り、2番手の加藤も毎回奪三振の3回無失点と相手打線の反撃を封じた。
東北学院榴ケ岡は先発伊藤泰雅が初回到2三振を奪い完璧な立ち上がりを見せるも、仙台育英の鋭い打撃に屈した。打線も初回と3回に好機を作るも、あと1本が出なかった。
攻守に力の差を示した仙台育英が快勝し、決勝へ大きく弾みをつけた。

準決勝 楽天モバイル最強パーク宮城 2 時間 25 分										打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
東	北	0	0	0	0	1	0	0	0	35	5	1	4	1	5	10	13	0	1
東	陵	0	0	0	0	0	0	0	0	【陵】	26	2	0	0	2	3	3	4	1
(球) 三浦 徹 (一) 森山 宏則 (二) 山館 浩樹 (三) 佐々木 瞭太										▽本塁打 なし									
【東】 和泉										▽三塁打 なし									
【陵】 佐藤夏, 岩淵										▽二塁打 大槻 (東) 飯田 (陵)									
▽暴投 岩淵1(陵)										▽捕逸 なし									

【 東 陵 】		打数	安打	打点
(右)	飯田 彬舜	4	1	0
(遊)	池田 太陽	2	0	0
(三)	池田 悠真	4	0	0
(左)	新野 優絆	4	0	0
(一)	齋藤 仁成	3	1	0
(中)	新村 寛人	2	0	0
(指)	姉崎 真士	2	0	0
(捕)	大堀 桂新	2	0	0
(二)	早坂 琉聖	3	0	0
(投)	佐藤 夏向	0	0	0
投	岩淵 岳琉	0	0	0

投手名	打数	投球数	投球回	投球回	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
佐藤 夏向	22	86	5	1	4	0	1	0	6	2	0	0	0	1	1
岩淵 岳琉	13	60	3	2	1	0	0	0	4	2	1	1	0	0	0

【 東 北 】		打数	安打	打点
(左)	矢野 匠望	3	1	0
(一)	梅田 昊青	3	0	0
(二)	三浦 毅大	2	0	0
(中)	進藤 翔愛	4	1	1
(右)	松本 叶大	4	1	0
(捕)	荒川 陽希	4	0	0
(指)	大槻 秀翔	4	1	0
走指	堀尾 弘汰	0	0	0
(二)	佐藤 良洗	3	0	0
(遊)	笠 隼 人	4	1	0
(三)	鈴木 雄飛	4	0	0
(投)	和泉 寛太	0	0	0

投手名	打数	投球数	投球回	投球回	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
和泉 寛太	26	102	9	0	2	0	2	0	3	2	1	0	0	0	0

【評】
高校野球の理想である1対0のスコアで、夏の大会の決勝進出を決めたのは、今春選抜大会に出場しベスト16の東北高校。東北は5回先頭打者8番笠の中前安打と1番矢野の一塁内野安打で1アウト1、3塁とし3番進藤のこの試合唯一の得点である右前1点適時打でその後の試合運びを有利に進めた。守備面でも失策が無く、併殺を記録するなど堅守で投手を盛り上げた。その守備陣の活躍に応えたのは、投手の和泉。東陵打線を散発2安打に抑え東陵打線を完封し、チームの勝利を呼び込んだ。一方の東陵は、5回の齋藤の中前安打とバントと四球で2アウト1・3塁としたが一本がでなかった。また6回には東陵高校最大のチャンスが巡って来た。先頭の1番飯田のセンターへのデキサス2塁打とバントで1アウト3塁の絶好のチャンスを演出したがここでも1点が遠かった。守備陣が4失策と本来の調子ではなかったが、失策での得点は無かった。お互いのチームが全力を尽くした近年まれにみる好ゲームであった。